

令和7年度 北海道函館盲学校経営方針

令和7年4月1日

学校教育目標

自ら、学ぶ子 心を伝える子 活動する子 を育てます

【目指す学校像】・【教育ビジョン】

- 1 児童生徒の生きる力を育み、自立と社会参加を目指す学校 【一人一人の可能性を引き出す教育の推進】
- 2 教職員が専門性を発揮し、豊かな教育活動を実践する学校 【学びの機会を保障する教育の推進】
- 3 家庭や地域と連携・協働し、信頼される学校 【地域とともに歩む教育の実現】

教育方針

- 1 生きる力を育み「知・徳・体」の調和のとれた育成を図る。
- 2 児童生徒が「学ぶ楽しさ・よろこびを実感できる」授業を行う。
- 3 個性と実態を把握・考慮し、児童生徒一人一人を包み込み、可能性を引き出す丁寧な教育を行う。
- 4 児童生徒一人一人の能力や個性を伸ばし、自立や社会参加に向けた基礎を養う。
- 5 視覚障がい教育の専門性を生かした教育活動を行う。
- 6 家庭や地域と連携・協働した教育活動を行う。
- 7 教育課程の編成、実施、評価、改善(カリキュラムマネジメント)を通じて教育の質を高めていく。

経営方針

- 1 視覚障がい等の専門的な教育が充実・機能するための学校運営を推進する。
- 2 道内視覚支援・盲学校と連携し、教職員一人一人の専門性の向上に努める。
- 3 安全・安心な環境を確保し、児童生徒及び教職員のウェルビーイングの向上に努める。
- 4 ICTの積極活用を進め、教務部・舎務部・事務部の協働的かつ機能的な組織運営を推進する。
- 5 教育公務員として服務を遵守するとともに、心身ともに健全な働き方ができる職場環境づくりを推進する。
- 6 道南圏域の視覚障がい教育のセンターとして教育相談、教育支援の充実に努める。
- 7 地域と積極的に連携した学校経営を行う。

重点教育目標

一人一人を包み込み、学ぶ楽しさ・よろこびを実感する教育の推進

教育の重点

- 1 保有感覚とICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による子供を主語にした授業
- 2 一人一人の実態を適切に捉えた、教育活動全体を通じて行うきめ細やかな自立活動
- 3 いじめ防止プログラム、道徳教育、人権教育等による他者と共によりよく生きるための心の教育
- 4 合同学習や他校との交流及び共同学習、外部講師や地域資源の活用、体験活動等の多彩な学び
- 5 体力向上、心身の健康維持・増進、防災・防犯・事故防止、食育等の健康・安全・食に関する教育
- 6 人間関係形成、自己理解・自己管理といった自立と社会参加の基礎を育むキャリア教育

経営の重点

- 1 視覚障がい教育等の専門性の基盤となる研修・研究
- 2 人権、防災・防犯・事故防止、感染予防に配慮した安全・安心な学校づくり
- 3 保護者にとって「学ばせたい」、「選んでよかった」学校を実感できる情報提供・支援・連携
- 4 地域・関係機関にとって「身近な」、「頼りになる」学校となるような理解啓発・支援・連携
- 5 教職員にとって「働きがいのある」、「働きやすい」職場づくりと、職員が実感できる働き方の改革
- 6 地域の学校に在籍する弱視児童生徒に対する盲学校の専門性を生かした通級による指導
- 7 児童生徒・保護者・教職員及び本校にゆかりのある方々にとって有意義な創立130周年記念事業

研究主題 「盲学校における障がいの重複化・多様化に対応した効果的な授業の在り方
～一人一人の可能性を引き出す指導・支援はいかにあるべきか～」